

平成 25 年 12 月 2 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 25 年 12 月 2 日 (月曜日)

午前 9 時から午前 10 時 15 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生      委 員 羽賀 友信      委 員 中村 美和  
委 員 青柳 由美子      教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

|                |       |                |       |
|----------------|-------|----------------|-------|
| 教育部長           | 佐藤 伸吉 | 子育て支援部長        | 矢沢 康子 |
| 教育総務課長         | 若月 和浩 | 教育施設課長         | 中村 仁  |
| 学務課長           | 田村 均  | 学校教育課長         | 田中 仁  |
| 子ども家庭課長        | 佐藤 正高 | 保育課長           | 栗林 洋子 |
| 中央公民館長         | 武樋 正隆 | 中央図書館長         | 金垣 孝二 |
| 科学博物館長         | 山屋 茂人 | 学校教育課主幹兼管理指導主事 | 大矢 慎一 |
| 学校教育課主幹兼管理指導主事 | 笠原 徹  | 学校教育課主幹兼管理指導主事 | 山之内方史 |

5 事務のため出席した者

|          |       |           |       |
|----------|-------|-----------|-------|
| 教育総務課長補佐 | 茂田井裕子 | 教育総務課庶務係長 | 水内 智憲 |
| 教育総務課庶務係 | 平澤 司  |           |       |

## 6 議事日程

| 日程 | 議案番号   | 案 件                 |
|----|--------|---------------------|
| 1  |        | 会議録署名委員について         |
| 2  | 第 49 号 | 平成 26 年度当初予算の要求について |

## 7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 12 月定例会を開会する。

---

### 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

---

### 日程第 2 議案第 49 号 平成 26 年度当初予算の要求について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 49 号 平成 26 年度当初予算の要求について を議題とする。なお、この議案は公表前のものであるので、秘密会の扱いとしたいと思うが、いかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) では、秘密会にする。

————— 会議規則第 43 条の規定により記録中止 —————

---

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、平成 25 年度 中学生夢さがし発見塾について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 南中学校と岡南中学校が制作したプロモーションビデオの放送日が決定したのでお知らせする。日時は 12 月 28 日の午前 11 時から 11 時 30 分までの 30 分間である。なお、12 月 14 日に最後の収録を行う予定である。岡南

中学校では自主的に 12 名の生徒がグループを作り、行ったものである。是非、放送をご覧いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、第 24 回 長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会 会議報告について、事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 平成 25 年 11 月 25 日に馬高縄文館学習室にて、第 24 回長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会を開催した。出席者は、委員 6 名とオブザーバーとして参加いただいた新潟県文化行政課の滝沢専門調査員である。内容は、史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用についてである。主な議題は、平成 25 年度事業の実施状況について、平成 25 年度復元住居建築工事について、平成 26 年度の事業計画についての 3 点である。それぞれの議題について委員から出された主な意見や質問について説明する。平成 25 年度事業の実施状況について、土器づくりの粘土は地元産を使用しているのかとの質問が出た。このことについては、地元で土を採取することもできるが、粘土にするまでの手間が大変なので、陶芸専門業者から野焼き用粘土を購入し、それに砂を混ぜて使用していると回答した。また、小学校への出前授業・体験学習の評価はどのように判断しているのか、実施した効果を測る手法が必要ではないかとの質問が出た。このことについては、学校側から提供してもらった感想文や担当教員からの聞き取りなどを参考にしていると回答した。次に、平成 25 年度復元住居建築工事について、復元住居の楕円形の形状がきれいすぎるのではないかと質問が出た。このことについては、平面形が不自然にならないように仕上げたいと回答した。また、今回使用する材木は何かとの質問が出た。このことについて、施工期間が短いため、入手しやすいナラ材を使用する予定であると回答した。最後に、平成 26 年度の事業計画について、ミュージアムショップの充実をお願いしたいとの意見が出た。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、社会教育委員との意見交換会について、事務局の説明を求める。

(武樋中央公民館長) 教育委員と社会教育委員との意見交換会を2年に1度行っている。今年度が開催の年にあたるため、12月19日の午後4時から、まちなかキャンパス長岡301会議室を会場に行う予定である。意見交換会のテーマは「学校と地域との連携を活発にしたい」である。平成16年度に旧長岡地域の全地区公民館をコミュニティセンター化した。その際、公民館活動や社会教育活動もコミュニティセンターの事業とした。学校と地域との連携を活発にするためにコミュニティセンターは有効な手段の1つである。また、「第2期教育振興基本計画」に掲げられている4つの基本的方向性の1つとして、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」がある。計画には、学校支援地域本部や放課後こども教室などが有効な手段として挙げられている。これらも踏まえ、様々な観点から学校と地域の連携を活発にするためにはどのような手法が有効なのか、社会教育委員の方と意見交換していただきたいと考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 事務局から出席する者はいるか。

(武樋中央公民館長) 中央公民館の他に、コミュニティセンターを所管している市民活動推進課や教育委員会関連各課にも出席を依頼している。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はないか。

(金垣中央図書館長) 12月7日から1月26日までの期間で、「第7回ながおかのこども作品展」を開催する。今回は過去最高の960点を展示する予定である。保護者からも非常に好評であり、入場無料なので是非足を運んでいただきたい。

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これをもって協議報告事項を終了する。

---

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員